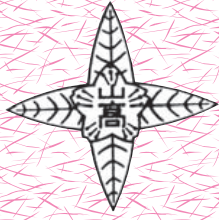


第67号

編集・発行
 日本大学山形高等学校
 図書部
 図書委員会
 発行日
 平成24年2月15日
 (株)大風印刷



日大山形

図書館報



勧めたい書

学校長 近藤 博七

各分野の書の中で、ある程度手に取りやすい新書版を中心に挙げてみました。

高岡 望著

『日本はスウェーデンになるべきか』(PHP新書)

現在の日本に最も影響が強いのは北欧の文化です。マスコミの紹介では教育関係が多いようですが、実際には洋装品や木製の家具などの日用品及び街造りのデザイン、自転車道路の設置など、生活の様々な分野に取り入れられています。その北欧文化の源を紹介し、私たちの目を北欧の人々の生き方に向けさせたのは、荒正人著『ヴァイキング』(中公新書)で、その現代版は武田龍夫著『物語 北欧の歴史—モデル国家の生成』(中公新書)です。しかし、現代の社会生活そのものについて、理想と想っていたものがここまで実現されているのだという一種の驚きを与えてくれる書の一つが、この書でしょう。

柳田充弘著『細胞から生命が見える』(岩波新書)

現代は精神と行動の関わりを、例えばDNAの組み合わせによって科学的に認識する時代ですが、それを細胞の段階として認識できるのがこの書です。ところで、最近の人の行動と精神の基となる能の働きを紹介したテレビ番組では、視聴者の興味を高めるため行き過ぎたもの

もあります。それを戒めるだけでなく、人間と動物の精神の違いを教えてくれるのが、小泉英明著『脳科学の真贋』(日刊工業新聞社)です。また、現代の日本の若者は精神の力によって身体を変えています。それに普遍性のあることを教えてくれるのは、ブルース・リプトン著『思考』のすごい力』(PHP研究所)です。

吉永良正著『「複雑系」とは何か』(講談社現代新書)
 中村量空著『複雑系の意匠』(中公新書)

精神の世界だけでなく、現実の世界の複雑さをコンピュータ・シミュレーションによって具体的に認識し、あらゆる事象を新しい発想で把握して人間の能力を広げたものに、「複雑系」があります。これはあらゆる分野での過去・現在の状況を説明するだけではなく、将来のありべき姿まで「現実化」しています。例えば、戦略の「ゲーム化」、東日本大震災や原発の被害と予防の解明、宇宙のあり方・道路情報・選挙の票・経済の現在の把握と将来の予想まで対象としています。その「複雑系」の本は様々ありますが、新書ではこの二冊でしょう。また、古代での「複雑系」の発想を、抽象的ですが、示している老壮思想を分かり易く紹介した書に、館野正美著『老壮の思想を読む』(大修館書店)があります。



私の読書道

第12回

「シミュレーション」

教諭 平 和 典 (情報)

二〇一一年三月十一日、大きく地面が揺れた。電気が止まった。商店から食料品や生活必需品が消えた。ガソリンも。このままの状態が続けばとんでもないことになると思いつながら、かなり昔に読んだ堺屋太一さんの『油断!』(日本経済新聞出版社)を思い出した。

この作品中では、石油が入らなくなるきつかけとなつたのは中東の政情不安で、戦争勃発に伴い石油の輸入の大半を中東に頼っていた日本では、新たな石油の輸入策もなく石油危機に陥ってしまう。ちなみに、現在の中東への依存度は九〇%弱。

当時、そういった動きがあったのか官僚たちが事前に調査や通産省のコンピュータでシミュレーションを行っており、このデータをもとに堺屋太一さんの計算と予測でこの作品が書かれた。シミュレーション通りにいくのであれば、備蓄石油が尽きて二カ月程度が過ぎた一四〇日目で二〇万八〇〇〇人の死者が出る。

そして一五〇日目で第二次産業の活動が

停滞し、GNPは三四にまで落ち込む。二〇〇日目には三〇〇万人の死者が出て、国民財産の七割が失われる。

これは、太平洋戦争三年九カ月に匹敵する被害に値する。

今回は地震と津波による流通経済の一部寸断であったが、現在の国内事情や国際情勢を考えると、このコンピュータでシミュレーションされた小説は、現在、そしてこれからの日本社会への警告書のような気がしてきた。

当時、コンピュータは個人では買えない時代で身近にはない。その時にコンピュータで予測した小説という内容がこの本の帯にあつたことが、私が購入したきつかけである。シミュレーションという言葉も使われておらず、予測という表現であつたのを覚えている。このように、かなり昔に読んだものであるが鮮明に記憶していた。読書、文字を読むということは、しっかりと記憶につながる知的な記憶財産となるようである。

この原稿を書き始めて、毎日の忙しさで何年も書店に行っていないことに気がついた。そして読書もしていないことに。これからは忙しさは変わらないだろうが、今はデジタル情報の世界、タブレット端末でデジタル読書でも始めようかとしている。

※このコーナーは、図書選定委員の先生方のリレー形式となっています。

とじよかんニュース

先輩からの寄贈に感謝!

昨年三月に、日大山高校友会より本を寄贈していただきました。校友会は、山新グループの本校卒業生による会で、会長は深瀬政則さんです。今回で二十回目の寄贈となります。先輩方の母校愛に感謝したいです。今までにいただいた三〇九冊の本は、閲覧室内の専用書架にあります。在校生の皆さん、大いに活用してください。



平成二十三年度『多読クラス賞』決定!

毎年恒例、『多読クラス賞』の表彰が、二学期の終業式に行われました。各学年一位の三クラスに近藤校長先生より、賞状と賞品が授与されました。受賞クラスのみなさんに、とても喜んでいただけようです。

受賞クラス図書委員の感想

一年五組 受賞できると思っていたなかつたのでとても嬉しいです。表彰の前日は眠れないくらい緊張しました。来年ももらえるようにみんなでたくさん本を読みたいと思います。(鈴木・阿部)

二年十二組 受賞したと聞いて驚きました。これからもみんなに読書や学習などで、図書館を利用してもらえるように呼び掛けていきたいです。(鈴木・小嶋)

三年十三組 理系のクラスですが、受賞できたのはクラス全員で協力した結果だと思っています。卒業前に良い思い出ができました。ありがとうございました!(石澤・庄田)



1年5組	4.3冊
2年12組	6.6冊
3年13組	6.6冊
(全校生平均)	1.8冊)

※平成23年4月～11月までの貸出冊数÷各クラス的人数で集計

平成23年度 日本大学山形高等学校・中学校 芸術鑑賞会



六月十日、山形市民会館にて芸術鑑賞会が行われました。今回はゴスペル音楽にふれるという企画で、「THE SOULMATEICS (ザ・ソウルマテイクス)」をお招きしての開催でした。SOUL(魂)のこもったステージに、私たちも心魅かれ、そしてパワーをもらい、ゴスペル音楽の世界に入り込んでいました。最後は客席の生徒たちも立ち上がった会場が一体となり、日常ではなかなか体験できない鑑賞会となりました。

『ゴスペルを聞いて』 三年四組 一戸 瑞穂

六月に行われた芸術鑑賞会は、『ザ・ソウルマテイクス』というゴスペルグループによって、とても素晴らしいものになった。私の母もゴスペルをしていたことがあったが実際に見たことはなかったもので、とても楽しかったです。



アメイジンググレイスを歌いながら登場してきたメンバーは、十数人。もつと多人数で歌うものだと思っていたので驚いた。さらに驚いたのは、アレンジされた日大の校歌を聞いた時だ。「こんなにかっこよくなるものか」と衝撃だった。印象的だったのが、メンバー全員がそれぞれに全身を使って歌を表現していたことだ。楽しそうに歌っている姿を見ると、こちらまで楽しくなる。いつの間にか手拍子も加わり、会場が歌声で満ちていた。また、歌を学ぶために来日した留学生や、学生の頃は不良だったというメンバーの話もあった。環境や経験してきたことがまるで違うのに、歌一つで繋がっている彼らがとても眩しく見えた。

今回、三年生にとって高校生活最後の芸術鑑賞会だった。卒業後仲間はそれぞれの進路に向かって、それぞれ離れてしまう。歌で繋がっている彼らのように、私も、離れても何かで繋がっていられるように仲間を大切にしたい。

平成23年度 図書館講座

～読み聞かせをしよう～

小さな子どもたちに読み聞かせをしようという講座を、図書館主催で今年も行いました。昨年参加してまたやりたいという人、昨年行けなかったのが今年はいったい人、総勢十一名(男子五名、女子六名)の参加でした。三年生三名、二年生四名、

一年生四名で、昨年より三年生の参加が増えていきます。十月から十一月にかけて、まずは三回の練習会。読み聞かせ指導用DVDを見て、自分の読む本を選んで……と練習の時から楽しんでいました。本番は十一月十四日、あおぞら幼稚園へ。園児たちや学童保育の小学生に、緊張しながらも読んであげました。子ども達にも好評で終了後も交流をもち、楽しいひとときは終わりました。

たくさんのお話を学んだ「読み聞かせ」

二年七組 大沼 愛美

今回、初めて「読み聞かせ」の活動に参加しました。私はここ数年、絵本に親しむことがなく、小学生の児童を



相手に、上手に読み聞かせができるかな不安でした。学校や家で練習を重ねていくうちに少しずつ読み方も上達して、その不安が薄れていきました。

実際に読み聞かせをしてみると、子どもたちは楽しそうに聞いてくれて、とても嬉しくなりました。子どもたちのキラキラ輝く瞳が、強く印象に残っています。読み聞かせの後に、子どもたちと交流する時間が取れました。小学生たちは、絵本の感想や絵を見て気づいたことを話してくれました。その中には、私が気づかなかったこともあり、子どもたちが、目と耳と心をはたらかせて、真剣に物語を聞いてくれたことが伝わり、とても嬉しく思いました。

私は「読み聞かせ」の活動を通して、改めて絵本の面白さや魅力を実感することができました。絵本は、子どもからお年寄りまで誰もが楽しめる魔法のようなものです。たった一冊の絵本が、手にした人を笑顔にできることは素晴らしいことだと思います。

今回の活動で私は、たくさんのお話を学びました。貴重な経験ができたことにとっても感謝しています。このような機会があれば、ぜひ参加したいです。読み聞かせで出会えた子どもたちの輝く笑顔を忘れずに、今回学んだことを学校生活の中に少しでも生かしていきたいと思えます。



日大山高図書館、これが人気です!!

～年間図書貸出&好きな作家ベスト10～

平成24年 1月31日現在

図書貸出 編

順位	書名	著者名	請求番号
1位	『泣きたい時の歌』	歌を読む詩集3	
		根本 浩	(911.6 ネ)
2位	『日本人の知らない日本語』	蛇蔵 海野凧子	(810.4 ヘ)
3位	『謎解きはディナーのあとで』	東川 篤哉	(913.6 ヒ)
4位	『半分の月がのぼる空』	橋本 紡	(913.6 ハ)
5位	『傾物語』	西尾 維新	(913.6 ニ)
6位	『神様のカルテ』	夏川 草介	(913.6 ナ)
7位	『GOSICKーゴシックー』	桜庭 一樹	(913.6 サ)
8位	『Right X light』	ツカサ	(913.6 ツ)
9位	『めづめづ和文化研究所京都』	小栗左多里 トニー・ラズロ	(790 オ)
10位	『ログ・ホライズン1』	橙乃ままれ	(913.6 ト)

好きな作家 編

順位	作者名	代表作
1位	成田 良悟	『デュラララ!!』
2位	西尾 維新	『刀語』『傷物語』
3位	時雨沢恵一	『キノの旅』『メグとセロン』
4位	山田 悠介	『親指さがし』『アバター』
5位	桜庭 一樹	『砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない』
6位	橋本 紡	『彩乃ちゃんのお告げ』
7位	有川 浩	『図書館戦争』『植物図鑑』
8位	吉野 匠	『レイン』『ロンリーハンター』
9位	雨木シュウスケ	『鋼殻のレギオス』
10位	根本 浩	『歌を読む詩集』

ライトノベルスの人気が根強いなか、ドラマや映画化された本が上位に入りました。なかでもある俳優さんが主演したドラマと映画の原作本が2冊入っているのが目を引きます。日大山高にはその方のファンが多い……？

好きな作家では、図書貸出で上位に入っていない作家さんが数多くみられます。上位に入った作家さんの本は所蔵が多く、長く読み続けられていることがわかります。小説以外にも図書館にはさまざまなジャンルの本がたくさんあります。貸出中や所蔵がないときは予約やリクエストができるので、ぜひ利用してください！ (2年 小肥 穂乃花)



『正義のミカタ』

主人公は元筋金入りのいじめられっ子!? そんな主人公蓮見亮太が一念発起を目指し大学を受験し、通称スカ大に合格。しかしそこには、いじめの主犯もいた。裏庭と呼ばれ、またいじめられる亮太。しかしそこに正義の味方が現れ、亮太は救い出される。このことがきっかけに「正義の味方研究部」に入部し、正義の味方として活動し始める。

この本は青春あり、笑いあり、哲学ありのとても魅力的な本です。この本では正義のミカタは、「正義の味方」であり「正義の見方」でもあります。そして自分の正義、自分らしさを見つけれらるとても興味深い一冊です。

さて、ここで亮太はどんな正義、どんな自分を見つけたか気になりませんか? ぜひ一度、読んで考えてみてください。

『BLACK・ブラック』

交通事故で未来を奪われた野球少年に勇気を与えるため、サイクルヒットを打つ約束を交わした老プロ野球選手。不治の病で離れ小島に隔離された少年たちが、長年寄付を続ける謎の人物に託す想い。そして、迫害されてきた自分たちに、唯一手を差し伸べてくれた病弱な少女への命を賭けた恩返し。追い詰められた彼らは、最期の想いを遂げられるのか? 三つの人生は、最期に何を遺すのか? 絶望の中奮起する三人のストーリーを楽しめる作品だと思えます。

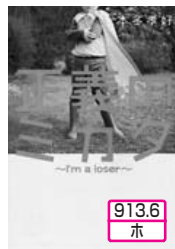
この本を読む内に、「生きる」とは何かと考えてしまいかも知れませんが。全四話の構成となつていますが、第三話でこの本のデザインになっている黒い物が何なのか分かるはず。デビュー十年目をむかえた山田悠介が描く、命と絆のストーリーを、ぜひお楽しみ下さい。

『もへ高校野球のマネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだ』

昨年四月には二〇〇万部を突破し、アニメや漫画化、映画化された本で、マネージャー、部長、委員長などを務めている人には、是非読んでもらいたい一冊です。また、これからマネージメントをやりたいと考えている人にも読んでほしいと思えます。

マネージメントと言っても、何なのかわからない人もいるでしょうし、ドラッカーの『マネジメント』を読んでも、簡単に理解出来る人はあまりいないと思います。ですが、この本を読めばとてもわかりやすくマネージメントについて学べると思えます。主人公である高校野球部のマネージャーのみなが、「野球部を甲子園に連れていく」という目標を実現するため、ドラッカーの『マネジメント』にある節を引用し、野球部という組織に置き換え考え行動していきま。みなみや野球部の仲間達は甲子園にいけるのか、最後まで目が離せません。マネージメントを学べるだけではなく、とても感動する作品だと思えます。

味わってみてください。



本多 孝好 著



山田 悠介 著



岩崎 夏海 著

三年七組 永山恵理子

図書委員会活動報告

活動目標 ● より多くの人に利用してもらえる図書館づくり



一年間の図書委員長を振り返って

前期委員長 三年七組 庄 貴志

三年間、図書委員として活動し、後期図書委員会が発足して数カ月がたちました。もともと本が好きだった私は、図書委員の活動を通して、図書委員長という仕事に興味を持ち、二年生の秋に委員長選挙で立候補し、当選して図書委員長になりました。

私は一年間、委員長を務めさせてもらったのですが、本当にいろいろなことがありました。私の一番の思い出は、三年生の時の古本市です。委員長としての最後の行事である古本市の成功は、今でも心に焼きついていきます。前の委員長からこの大役を引き継いだ時は、自分が本当に委員長など務まるのか、とても不安でした。実際、委員会では、みんなに何度も迷惑をかけたように思います。しかし、自分がここまでやってこれたのは、みなさんの協力があったからだと思います。自分一人では決して不可能だったでしょう。

委員の常時活動としても、本の貸出・返却、新聞での日大関連の新聞記事チェックなどがあり、また年二回の書店での本の購入などたくさんの方がいます。これらの仕事を、図書委員一人一人が頑張ってくれたから、みなさんに図書館を利用してもらえたと思います。また、先生や様々な方々に多くのご手を助けしていただきました。本当にありがとうございます。

これからは、新委員長の小嶋君が、私以上に頑張ってくれたいと思います。小嶋新委員長と一緒に図書館や図書委員会を今まで以上に、盛り上げてくださいます。影ながら応援しています。



委員長としての第一歩

後期委員長 二年十二組 小嶋 彬 嵩

私が委員長になってから、数カ月がたちました。委員のみなさんの協力のおかげで仕事がスムーズに進み、図書館がよりよいものになっています。これからも常時活動を徹底し、頑張っていきたいと思います。

このたび、後期図書委員会で掲げた目標は、前期の目標を引き継いだものです。私はもともとみなさんに図書館を利用してもらいたくて、今年もこの目標にしました。利用者が少ない原因として、私たちが全校生徒の図書館に対する意識を高める活動を怠っているためだと考えています。だから、今年は利用者の方みなさんが図書館に対する要望などを主張できる機会を設けたいです。常時活動に加えて目標を達成できるように、このような事も視野に入れながら活動していきたいと思っています。

今年新しい企画に力を入れていきたいので、委員のみなさん、御協力よろしく願います。私達のこのような企画を通して、図書館の利点や魅力をみなさんに伝え、一人でも多くの方が利用してくれると嬉しいです。また、私は図書委員を引っ張っていく立場なので、しっかりと委員をまとめ、今まで委員長を務めた先輩たちに負けたくないくらい頑張りたいと思います。これからも図書館をよろしく願います。

キャッチフレーズ ● うめつくそう 心の本棚を



日々の活動

- ・各委員が当番の曜日を決め、その日に自分のグループの活動を分担して行います。
- Aグループ：カウンター業務
- Bグループ：資料装備（新着本の装備など）
- Cグループ：広報・データ（新聞を読んで本校関連の記事を保存、「日大図書通信」の発行など）

4月

- ・新1年生へ利用者カード、利用案内配布
- ・前期図書委員会発足

5月

- ・書店にて本の購入
- ・キャッチフレーズ決定

6月

- ・雑誌リサイクル

8月

- ・蔵書点検
- ・桜華祭古本市

7月

- ・「日大図書通信」発行
- ・第2回図書委員会

11月

- ・図書館講座

12月

- ・放送部とコラボ企画で「放送図書通信」を放送
- ・「日大図書通信」発行
- ・多読クラスを表彰
- ・雑誌リサイクル

9月

- ・執行部で前期の総括

10月

- ・後期図書委員会発足
- ・書店にて本の購入



平成23年度 図書館委員会

5組	4組	3組	2組	1組	2年生										14組	13組	12組	11組	10組	9組	8組	7組	6組	5組	4組	3組	2組	1組	1年生																																																																												
推名真理子	阿部 晴華(後)	片山 佑哉(前)	齋藤 結(後)	飯野 由貴(前)	飯野 紘平	鈴木恵里可(後)	網谷 実来(前)	岡澤七オン(後)	菊池 正幹	國井 勝徳(後)	古瀬 耕平	柏倉 歩	阿部 睦実	福地 咲耶(後)	岡田 珠実(前)	鈴木宗一朗(後)	幸田健一郎	志濟 真駿(後)	齋藤 賢(前)	野川 和希(後)	岩瀬 晴佳	鈴木さくら	神崎 祐衣	松尾 海汐(後)	奥山 智博	後藤 侃	熊坂 明紀	熊坂 明紀	吉岡 佑晟	湯川 雄妃	海和 輝(前)	阿部 修也	阿部 舞	三部進太郎(前)	齋藤友太郎(前)	吉川 玄武(後)	飛塚 佑輝(前)	多勢 恵(前)	笹原 遼哉(後)	高山まりえ	川股 悠大	工藤新太郎(前)	木村 康平(前)	三好 功倫(前)	戸津 成陽(後)	菅野 隼人	百瀬 僚汰	東海林怜奈(前)	高橋 佳那(後)	荒井 佳那(前)	庄司 美穂(後)	原田 果歩	鹿間 明花	丹野 愛美	原田 瑠偉(後)	加賀 利亮	小肥穂乃花	佐藤 雅浩(前)	齊藤 泰希(後)	榎森 一晟	小嶋 彬嵩	鈴木 遥(後)	高橋 祐斗	佐藤 駿太	松尾 拓弥(後)	飯野真太郎	石山 功祐	会田健太郎	佐藤 凌	一戸 瑞穂	大山 祐佳	齋藤 芽美	永山恵理子	庄司 壮諒	中川 幸弥	遠藤勇太朗	澤井 健太	細谷 祐仁	石澤 聡	小関 大輝	高橋 涼	太田 隼斗(前)	櫻井 美咲	佐藤 大斗	鈴木 群生	長谷川亮太(前)	鈴木 一顯(後)	大原慎太郎	佐藤 誠也(前)	畑中 雅人	松田 巧(前)	神保 仁	大沼 智也	三浦健太郎	三浦 爽太	伊藤 千秋	山科 理史	白田 成	莊 貴志	長瀬 敏郎	那須 勇紀	松田 功一	野々山 大信	山口 昂平	庄田 進

※(前)：前期のみ
 ※(後)：後期のみ

《前期執行部》			《後期執行部》		
委員長	3年7組	莊 貴志	委員長	2年12組	小嶋 彬嵩
副委員長	3年8組	庄司 壯諒	副委員長	2年15組	飯野真太郎
グループリーダー	3年13組	庄田 進	グループリーダー	2年9組	小肥穂乃花
A	3年5組	大山 祐佳	A	2年7組	大沼 愛美
B	3年生代表		B	2年10組	齊藤 泰希
2年生代表			C	2年7組	大沼 愛美
2年15組	飯野真太郎		1年生代表		
			1年6組	岩瀬 晴佳	
			1年12組	古瀬 耕平	



《後期執行部》このメンバーを中心に日々活動しています。

ライブラリーフォト ～図書館・図書館委員この1年～

前期委員会発足 4月



桜華祭 古本市 8月



図書館講座 11月



前期図書選定 5月



後期委員会発足 10月



後期図書選定



雑誌リサイクル 12月



編集後記

今号から、図書館報は年1回の発行となりページ数が増えましたが、いかがでしたか？昨年3月に東日本大震災が発生して、間もなく1年が経過します。みなさんのおかげで書架の復元がスムーズに終わり、無事に今年度のスタートをきることができました。感謝の気持ちとともに、改めて目にみえない絆を感じました。今年度も図書館にさまざまな変化がありましたが、これからも生徒達や先生方と築いてきた絆を大切に、みなさんが心の本棚をうめつくせるように人や知とふれあえる図書館を目指していきたいと思ひます。(図書部)